

 評価のポイントCL-2.リーダーシップとマネジメント能力  
[89-2] 暴言・暴力・ハラスメントへの対応方法（事例）

## 1. セクハラを受けた時の対応とエスカレートさせないための防止策について話し合ってください。

- 一人で我慢するのは絶対にいけません！
  - ①意思表示をする：はっきりと「〇〇の話をやめてください！」と伝える
  - ②記録（メモ、写真、録音）：日時や場所、具体的な発言や行為
  - ③相談：同僚や看護師長または病院内の相談窓口へ
- セクハラを止める（防止）エスカレートさせない！
  - ①「不快に思う言動」と伝える  
セクハラ発言をしている方はセクハラ発言だと分かっていない可能性が高い  
相手を不快にさせる言動なのでやめるべきだと説明する
  - ②「職場環境を悪化させる」  
周りに聞こえるように性的な言動が聞かれたら職場環境を悪化させる可能性があることを伝える
  - ③「処分の対象となる」  
セクハラ行為は許されないという強いメッセージを伝える

## 2. パワハラを発見した場合、どのように対応するか話し合ってください。

- 行うこと
  - ・パワハラを見かけたら注意をする（注意をして自覚を促す）
  - ・被害者へ話しかける・話を聞く（孤独を感じさせない、理解者がいると感じてもらうことがポイント）
  - ・意向を確認する（相談されたら、相談相手の自分に何をしてほしいかを確認する）
  - ・早く対応する（何のアクションもなく連絡しないと不信感を与える）
  - ・記録を付ける（いつ、どこで、誰から、どのような言動（行動）を漏れなく記録）
- 行ってはいけないこと
  - ・行為者への同調（行為者の言動に同意したり笑ったりといった加勢するような対応）
  - ・被害者側を責める（「あなたにも問題がある」などは相手を否定する言動）
  - ・被害者の意思を確認せず通報（被害者が望まない場合もある。本人がどのように考えているかを確認する）
  - ・見過ごす（見て見ぬふり）